

京傳  
延命長尺御詔  
抄

13  
2946  
62



13  
2968

62

2968  
2946  
62

命いのちと字じハ推おしガ書か素す服ふくぬいで見みせさんて嗚呼ああおん  
 けんけん金かねも百万ひゃくまん両りやうの分ぶん限げん者しやも大だい切せき余あたりあんんと命いのちと總そう  
 角かくも助すけ六むささららみ苦く勞らうととれれば命いのちととちちむむるるよよととあり命いのち也なり  
 てののれれねねるるたた金かねとののままんんより命いのちとののままんんままりり  
 命いのちハ食くありり轉てん託たく餅もちハ棚たなありり命いのちハ養よう生せいありり養よう  
 生せいハ心こころありり一心いっしん命いのちの花はな繡しゅうははくくるるののいいつつぬぬめめのの長なが  
 ててももいいがが鼻はなの下したぶぶぐぐててももいいがが命いのちありりるるささよよれれ申まを山さん餅もち  
 の餅もちより甘あま口くちかか此この草くさ紙しととてて笑わらふふてて命いのち汝なんぢののいいちち也なり  
 筆ふでハ命いのちももままじじくくななつつけけ侍しやく人にん

享和二年壬戌春

山東京傳戲記

















道行仇  
寝言夢れ

浮橋

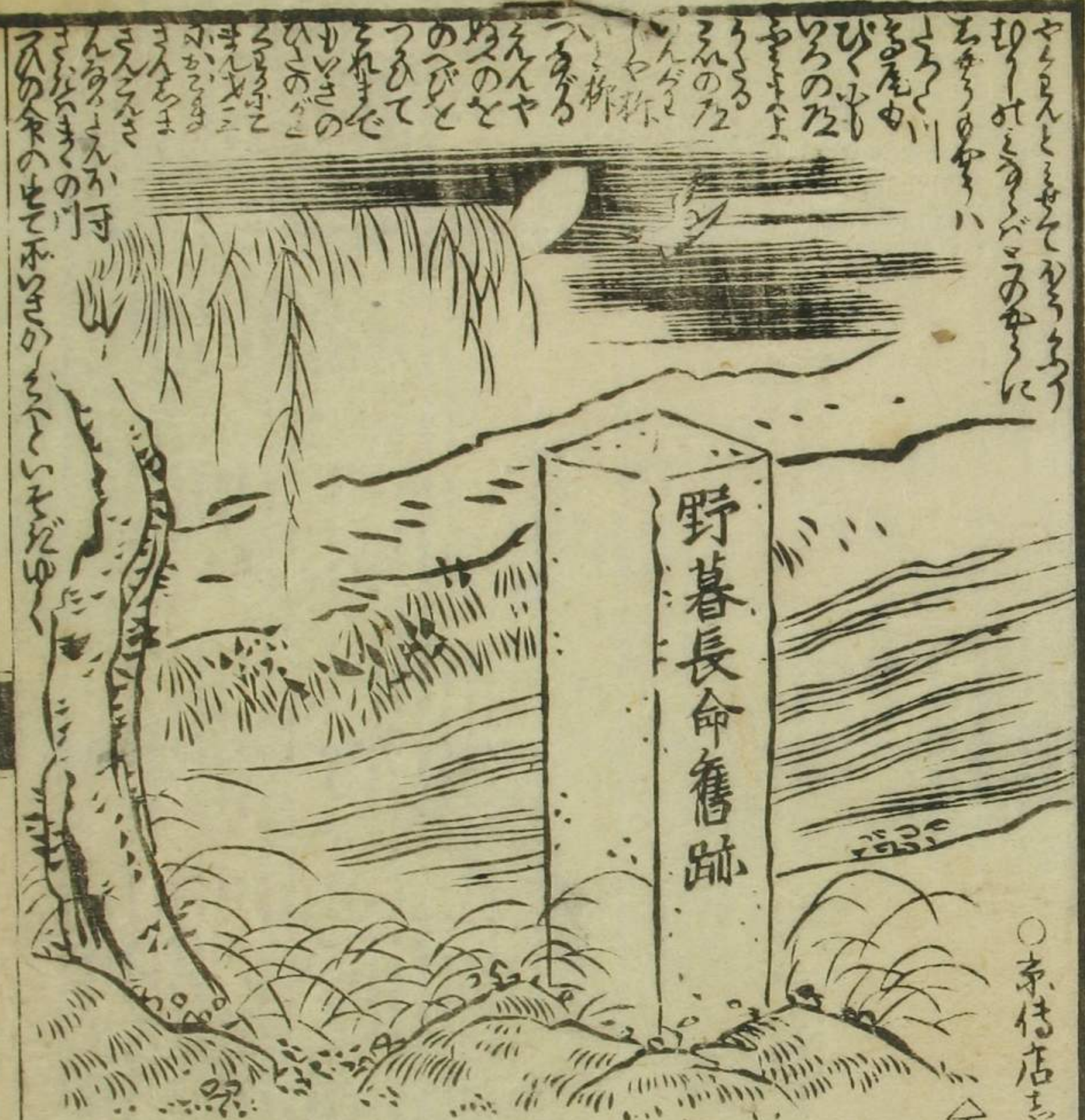
あつてあつてとん  
のうひーまはつと  
うんてええあま  
ののちんあま  
のしれしれ  
よふあまあま  
さんくあま  
うひー  
よふあまあま  
のうひーまはつと  
あつてあつてとん  
のうひーまはつと  
うんてええあま  
ののちんあま  
のしれしれ  
よふあまあま  
さんくあま  
うひー  
よふあまあま



忠臣水滸傳  
京傳作  
あつてあつてとん  
のうひーまはつと  
うんてええあま  
ののちんあま  
のしれしれ  
よふあまあま  
さんくあま  
うひー  
よふあまあま

あつてあつてとん  
のうひーまはつと  
うんてええあま  
ののちんあま  
のしれしれ  
よふあまあま  
さんくあま  
うひー  
よふあまあま

野暮長命舊跡



あつてあつてとん  
のうひーまはつと  
うんてええあま  
ののちんあま  
のしれしれ  
よふあまあま  
さんくあま  
うひー  
よふあまあま

京傳作

あつてあつてとん  
のうひーまはつと  
うんてええあま  
ののちんあま  
のしれしれ  
よふあまあま  
さんくあま  
うひー  
よふあまあま





さへせんもや  
おのれもや  
さへせんもや  
おのれもや  
さへせんもや  
おのれもや

かきこり

さへせんもや  
おのれもや



命令とてや  
せんせんと  
のうけつて  
つひふふ  
もあらひ  
やうらひ  
あひらひ  
おのれが  
やうらひ  
せんせんと

命令せんせんと

せんせんと  
ひきこり

せんせんと  
ひきこり

命令せんせんと  
のうけつて  
つひふふ  
もあらひ  
やうらひ  
せんせんと

今の世に...  
 今の子に...  
 今の世に...  
 今の子に...  
 今の世に...  
 今の子に...



今の子に

今の子に...  
 今の子に...  
 今の子に...  
 今の子に...  
 今の子に...

今の世に...  
 今の子に...  
 今の世に...  
 今の子に...  
 今の世に...  
 今の子に...

今の子に



今の子に...  
 今の子に...  
 今の子に...  
 今の子に...



けいせいの命が  
 えさめしめられ  
 ちのちのさうの  
 うせいのまへに  
 けいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに

命をよまひける

命をよまひける  
 命をよまひける  
 命をよまひける  
 命をよまひける  
 命をよまひける  
 命をよまひける  
 命をよまひける  
 命をよまひける  
 命をよまひける  
 命をよまひける



けいの命が  
 えさめしめられ  
 ちのちのさうの  
 うせいのまへに  
 けいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに

命にうけてまふ

けいの命が  
 えさめしめられ  
 ちのちのさうの  
 うせいのまへに  
 けいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに  
 うせいのまへに

よの中いいやど...  
あつちのの...  
ゆい...  
い...  
...

小段

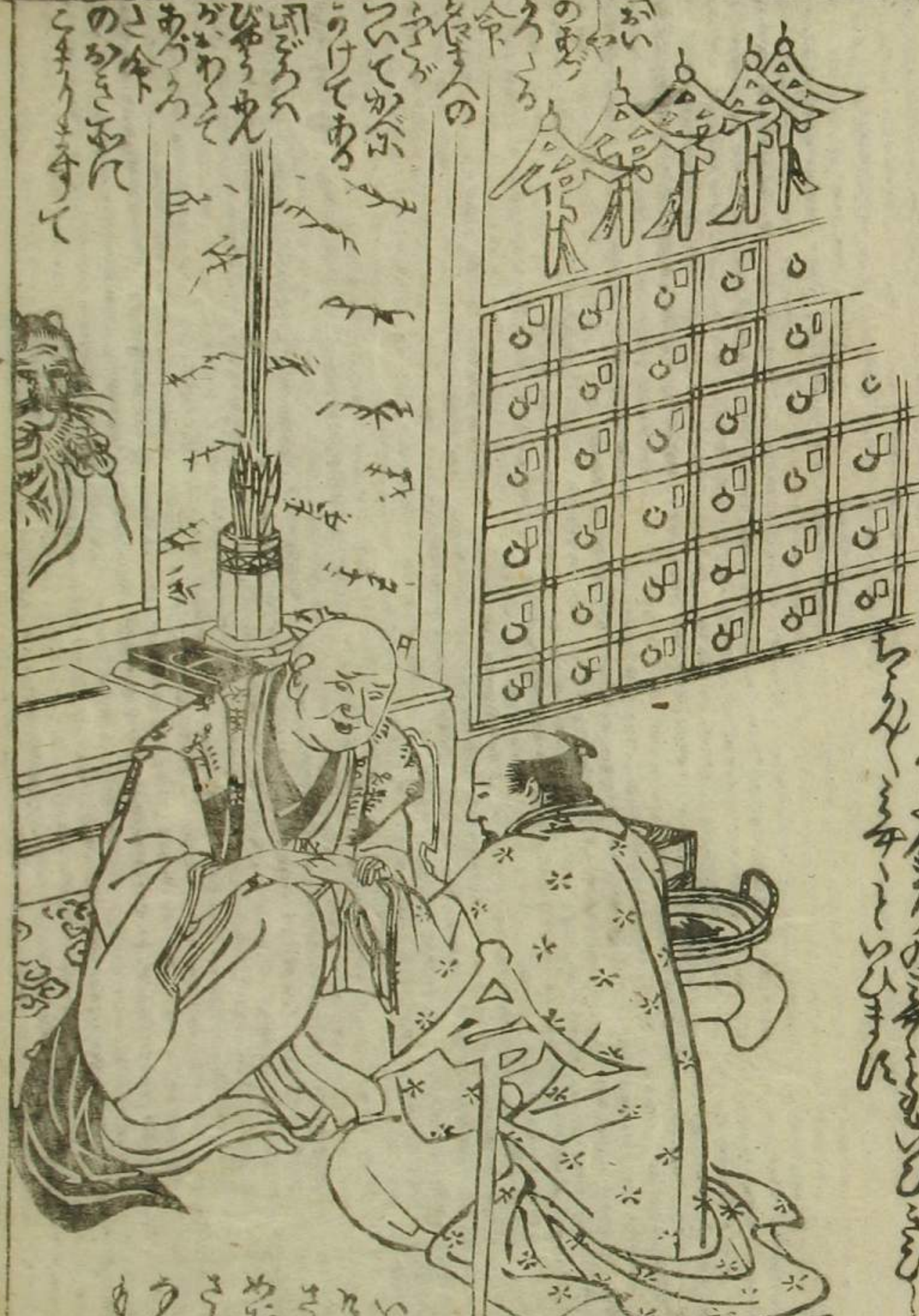
よの中いいやど...  
あつちのの...  
ゆい...  
い...  
...



十一

よの中いいやど...  
あつちのの...  
ゆい...  
い...  
...

よの中いいやど...  
あつちのの...  
ゆい...  
い...  
...



よの中いいやど...  
あつちのの...  
ゆい...  
い...  
...

アキラげんが  
このまをまろて  
命とじしえ  
ことありえ  
さやうさ  
いひてうさ  
うらぶを  
このわら  
いらすと  
ひのち  
ひのち

アキラげんが  
命とじしえ  
ことありえ  
さやうさ  
いひてうさ  
うらぶを  
このわら  
いらすと  
ひのち  
ひのち  
アキラげんが  
命とじしえ  
ことありえ  
さやうさ  
いひてうさ  
うらぶを  
このわら  
いらすと  
ひのち  
ひのち



アキラげんが  
命とじしえ  
ことありえ  
さやうさ  
いひてうさ  
うらぶを  
このわら  
いらすと  
ひのち  
ひのち

いふこととくちやんで  
命とじしえ  
ことありえ  
さやうさ  
いひてうさ  
うらぶを  
このわら  
いらすと  
ひのち  
ひのち



アキラげんが  
命とじしえ  
ことありえ  
さやうさ  
いひてうさ  
うらぶを  
このわら  
いらすと  
ひのち  
ひのち

命とじしえ

高名

孫子

ハ文

一五

ハ文

一五







